

デザイン画の描き方

※必ずこの通りに描く必要はありません。あくまでも参考にしていただけると幸いです。

1、基本となる人体を描く（推奨使用画材：鉛筆）



まず下描きです。ポーズ下絵を使用する場合は、下絵にケント紙を重ねて写し描きをします。もちろん自分で好きなポーズを描いても大丈夫です。自分で好きなポーズで描く場合は、紙の大きさに対して人体が小さくならないように描いていきましょう。

2、着装させる①



下描きに着装させていきます。脇の下、ウエスト、袖など人体と服の間に必要なゆとりを入れ、全体のシルエットを決めていきましょう。

3、着装させる②



細部のデザインを描いていきます。衿、ボタン、ポケット、そして袖つけ線などの縫い目線も入れていきましょう。また、関節を曲げた時に生じるしわやギャザーのしわなども忘れずに描き立体感を出していきましょう。

4、アウトラインを描く（推奨使用画材：ペン～黒・耐水性）



下描きが完成したら、鉛筆の線をなぞりアウトラインを仕上げていきます。彩色した後にアウトラインを入れる場合もあるので、デザインや画材によって描く順番を変えていきましょう。描き終えたら、下描きの鉛筆の線を消しゴムで消しましょう。

5、彩色する（推奨使用画材：色鉛筆、水彩絵の具）



肌の色など淡い色から塗っていきます。特に黒や紺、こげ茶などの濃い色は他の色がしっかり乾いてから塗ると、にじんでくすんだり汚れたりせず、失敗が少ないでしょう。